

お客様からのコメント

愛知県 こんぴら様より

「ハナエモンのタ〜イムスリップ」の有名なサブエピソード的なものがいつも物珍しくてお気に入りです。ちなみに「大和魂」は2017年分から全部ファイリングして大切にコレクションにしております。

【追伸】 中堀さんのチョコの指はあのアニメの指みたいで、うちの家族にかなりうけていました（最高の作品です!!!）

ありがとうございます!! ファイリングめっちゃくちゃ嬉しいです(泣) 専用のファイルを作ろうか悩んでいます。もし出来上がったお知らせしますね!!  
タ〜イムスリップして欲しい歴史上の人物はいますか? 指チョコの作り方こっそりお手紙で送らせて頂きますね(笑)

神奈川県 みのたん様より

兜の歴史…よく調べられていますね。大変勉強になりました。チョコの小指は、気持ちは判りますが本当に贈られたら引きます!

ありがとうございます!! 確かにチョコでも貰った人はびっくりしますよね。昔は本物の…と考えると鳥肌が立ちます。今号の和歌はどうでしたでしょうか? 少しでも想いが届いていれば嬉しいです。

愛媛県 T様より

一口知識、タ〜イムスリップ、大和魂は役立ちます。この位の情報で十分です。ありすぎると疲れますね。兜の本の間に挟んで捨てずに保存しています。大体のパンフレットはごみ箱に直行です。これからも役立つ情報をお願いしますね。

な、なんと嬉しいお言葉…誠にありがとうございます。これからも、飽きさせる事ない記事・内容に充実したニュースレターを作っていきたいと思っております。次回もどうぞ楽しみにして下さい。これからも「届けますっ! 大和魂」を宜しくお願い致します。

岐阜県 F様より

兜、藤堂高虎、両方ともに国書領で詳細に調べてもこれまで入門書になると思います。ファイルで保存する価値あり! 今後の企画に期待しています。「行く」「続」「先」の一年に注目!!!!

ありがとうございます!! 入門書…ありがたいお言葉を下さり大変恐縮しております。これからも、面白い!!! なるほど!!! マニアック!!! と思って頂けるような記事を作り、自身も学んでいきます。今後共、どうぞよろしくお願い致します。

届けますっ! 大和魂 2022年4月 Vol.47

経営理念

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します



こんにちは。中堀明美です。バレンタインにあげた(※2月号参考)指チョコのお返しにと息子が、都こんぶをくれました!!



餡だと太るから  
こんぶ食べとき



いやあ〜  
本当に親思いの  
優しい息子ですね…



かんざし

前号では、「昔の女性は男性へ何をプレゼントしていたか?」を記事にしましたが、男性は一般的に着物・簪・櫛などを贈り、プロポーズの際には「櫛」を贈っていたそうです。

「結婚生活は幸せも多いが苦勞も多い。共に死ぬまで寄添いながら生きていこう。」そんな想いを込めて贈られていたそうです。「くし=苦=く 死=し」愛する人となら、苦勞も一緒に乗り越えられますね!!

因みに、平安時代では「和歌」を贈り、プロポーズしている人もいたそうです!

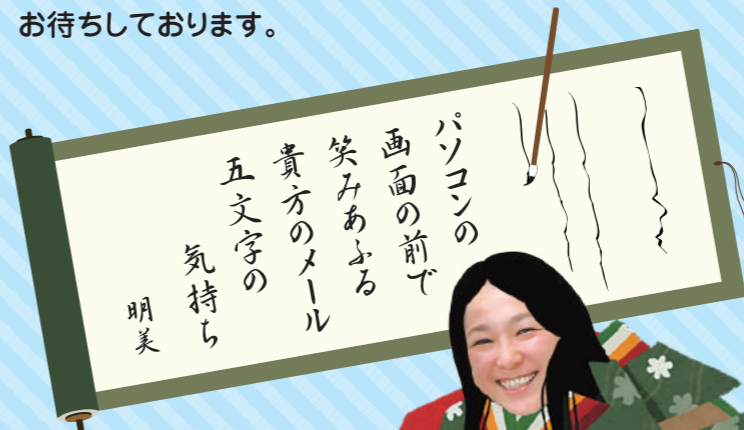
好きな人から恋文を貰えるなんて絶対嬉しいでしょうね〜ロマンチックです♡

普段、中々照れくさくて言えない感謝の気持ちや、愛の言葉などを和歌にして伝えてみては如何でしょうか(^^) 私からお客様へ、感謝の気持ちを和歌にして贈りたいと思います。和歌でのコメントも大歓迎です!!(笑)

お待ちしております。

ホワイトデーの起源は日本から!?

日本では、贈り物をもらったらお返しをするという「お返し文化」が根付いています。バレンタインデーにチョコをもらったら、なにかお返しを…「お返し」の風潮が若い世代の間で生まれ、これを受けた「全国飴菓子工業協同組合」が3月14日は、「キャンディーを贈る日」というバレンタインデーのお返しの日を考案しました。ここ近年では、中国や台湾、韓国などの東アジア圏にはホワイトデー文化が広がっていきつつありますが、熱心に3月14日にお返しをしている国は日本だけだそうです。



【意味】  
メールで届く「感謝」や「ありがとう」の文字をみて、思わず嬉しくなり、自然と笑顔になってニヤニヤしてます。

新春

お年玉プレゼント 当選発表!!

2月号掲載「新春お年玉プレゼントクイズ」での問題

5本のローソクに火をつけました。風が吹いて3本のローソクが消えてしまいました。次の日まで残っていたローソクは何本でしょう?

正解は3本でしたあ〜!!

19等賞

折りたたみ式  
アウトドアチェア  
です!!



沢山の応募の中から当選されたのは

福岡県 みつまる様です!

おめでとうございます!! 近日中にお届け致します。

バレンタインデーの記事は知らないことだったので面白かったです。個人的にはもう何年も縁がない日なので普通の1日としてただただ過ぎていくだけですが 笑

みつまる様、お手紙ありがとうございます!! これからも、興味を持って頂けるような面白い記事を作っていきますので今後ともよろしくお願い致します。贈品は近日中にお届けしますので、お手元に届くまでもうしばらくお待ちください(^^)♪

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>  
 有限会社 大名 広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp  
 TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

こんにちは、島谷貴子です。

前号に引き続き兜の変遷について語らせて頂きます。

沢山のコメントありがとうございました。今後も役に立つ

情報を語らせて頂きますので、宜しくお願い致します。



語ります

# 大和魂

## 「星兜」から「筋兜」への変遷

### 古墳時代 (250年～)

- まびざしつきかぶと
- しよっかくつきかぶと
- ・「眉庇付兜」
- ・「衝角付兜」

### 平安時代 (794年～)

- いかぼしかぶと
- いちまいばりきんふせかぶと
- ・「巖星兜」
- ・「一枚張筋伏兜」

### 鎌倉時代 (1185年～)

- すじかぶと
- ・「筋兜」

### 室町時代～南北朝時代 (1336年～)

- あこだなりかぶと
- ・「阿古陀形兜」



今回おなじみの語ります

### 室町後期～安土桃山 戦国時代 (1573年～)

- とっばいなりかぶと
- ・「突笠形兜」

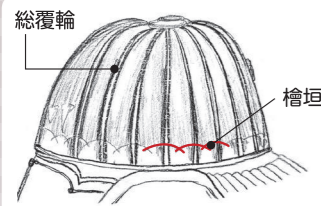
- ずなりかぶと
- ・「頭成兜」

- ももなりかぶと
- ・「桃形兜」

- えぼしなりかぶと
- ・「烏帽子形兜」

変わり兜

## 筋兜の変化、阿古陀形兜の誕生

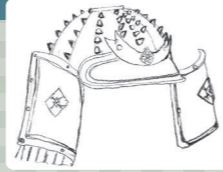


鉢内の隙間を利用することが重要であると考えられ、鉢が大きく、前後の膨らみも強くなっていきました。軽量化にする為、膨らみを付けるのに、鉄を打ち出し薄鉄にし、小さい鋳で作られていました。筋があって、滑らかな感じが「阿古陀瓜」に似ていることから名前がつけました。この兜を主に作っていたのが「春田派」と言われる甲冑師達でした。奈良県で活動し、朝廷と関わりがあったので、諸国に招かれ、和歌山・石川・京都・静岡・愛知・鳥根へと分布していきました。室町時代から江戸時代にかけて、活躍した甲冑師派の一つです。筋に覆輪をしたり、楯垣を付けたりと装飾されたものを、総覆輪といわれ、この兜の形が一般的な阿古陀形兜となっていきました。しかし、薄鉄で脆弱な鋳がもろく割れやすい欠点もあり、室町末期には戦乱の激化により衰退していきました。この時代以降より、甲冑(鎧)・兜もさらに色々と改良されていきました。

時代や戦によって、形を変えていく兜。なぜこの形がこの時代に流行したのかを考えることで、さらにその兜の価値を再認識することができました。武将に求められる、命を守る為の兜に、機能性、そして、見た目の華やかさも備えた兜を作り出す、日本人の物作りへの職人魂が感じられました。状態が良く現存しているものは少ないですが、価値ある品を残し、受け継いでいかなければならないなと思いました。次号は室町後期以降の兜について語らせて頂きます。

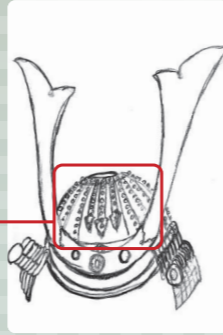
### 平安時代

騎射戦が主流の為、矢など攻撃から頭を守る為のものとして作られていました。一枚、一枚頑丈な(鉄)板(鉄)で作られ、約十枚～十八枚張りの大きな星がついたものが主流でした。階級の高い武将は、装飾の為に立物を付けていました。

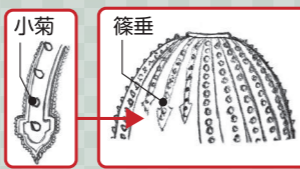


### 平安後期～鎌倉時代中期

蒙古襲来や、幕府政権に対する不満が多く、反乱が各地で起こる等、甲冑(鎧)の需要が高まり、武士の嗜れ着である鎧は、華やかに変化していきました。兜も、前時代より薄い板を約二十枚～三十枚張りで、星も小ぶりになり個数が増え小星と言われるようになりました。そして板が多く、手間がかかっているものは高級品とされていきました。



更に八幡座や篠垂に小菊の模様を施し、彫金物で覆って豪華にし、立物も鍔形から長鍔形、大鍔形と変化し、軍を率いて指揮を執る大将などの身分を示す為に目立たせていきました。



### 鎌倉時代末期～室町時代 南北朝時代

全国的に戦乱が多くなり、馬上での弓の戦いから地上での太刀や薙刀での戦いが主流となり、武器も甲冑(鎧)・兜も変化していきました。板の枚数も更に増え、三十八枚～五十二枚張りで、星の数も更に増え、豪華な兜となっていきました。地上戦で天辺の穴も狙われやすくなった為、小さいものに変化していきました。位置も中心ではなく、少し後部へずれていきました。立物も着用者の威厳や、自己顕示、戦場における味方同士の目印として付けられるようになっていきました。(立物: 語ります大和魂vol.28参照)



### 南北朝時代

南北朝時代には、鉢内に隙間を作り、大きな鉢へと変化していきました。その隙間に受張を緩衝材として付けていきました。理由として、長時間着用すると、兜と頭を密着することで蒸れる為、敵からの攻撃で、頭への衝撃が凄まじい為でした。更に軽量化にする為、星を叩きつぶし板を平たくし、刃からの攻撃を滑らせることも考えられ作られていきました。



ハナエモン

# ターイムスリップ!

今年は「○○名人」と特集します!  
今号は鉄砲名人のこの方にターイムスリップ!

## 稲富流砲術の開祖 稲富祐直

いなとみ すけなお / いなとめ すけなお  
1552-1611年



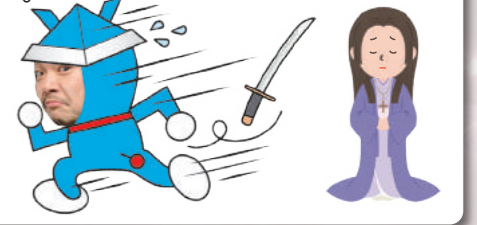
### 朝鮮での虎狩り



代々丹後守護の一色家に仕えていた稲富家ですが、祐直は一色家を滅ぼした細川忠興に仕えることとなります。慶長の役(1597年:45歳)で細川軍の一員として渡海します。現地で細川家臣と立花家家臣とで虎狩りを行いました。鉄砲名人として参加した祐直の弾は外れ、相手の弾が虎に命中したそうです。更に相手の方が虎から離れていたらしく、祐直が虎にビビって外したのではと、評判が立ったそうです……。

### 主君の妻を置き去り

関ヶ原の戦い(1600年:48歳)が始まった時、大坂の細川屋敷で細川ガラシャ(忠興の妻)の警護をしていた祐直。敵方の兵が屋敷を取り囲むと、同じく警護をしていた細川の家臣達はガラシャと共に自害したのに対して、1人現場から逃走した祐直……。細川家を解雇されてしまいます。その後、天下人の徳川家康が祐直の砲術の腕と知識を惜しみ、忠興を諫めてくれたお陰で、徳川家家臣となりました。その後は、幕府の鉄砲方として、鉄砲技術、鍛冶技術の向上に尽力したそうです。



鉄砲名人と呼ばれている割には、外したり、逃げたりとダメダメな印象の祐直。臆病者らしい逸話は他にも。祐直は別名「二領具足」と呼ばれ、合戦時には鎧を二重に着込んでいたとか……。

一方で、名人としての逸話も残っていますよ～!

- 針の先にぶら下げた虱に命中させたり
- 家の中から鳥を見なくても鳥に命中させる
- 目隠して百発百中

など、人間離れた逸話が残されています!



また、一色家家臣として籠城戦を戦った時は、巧みな鉄砲戦術で細川家を変に困らせたそうです。それだけの名人だからこそ、徳川幕府に取り立てられたのでしょうか。どちらの一面も鉄砲名人祐直。なんとも魅力的な武将の1人ですね。

あくまで憶測ですが、家康が祐直を登用したのは、強力な鉄砲戦術が他家に渡るのを恐れたためではないでしょうか? 徳川幕府の脅威になるかもしれない武将を取り込んだと考えると家康らしいなと思います。

その後、砲術は武士らしい潔さがなく、卑怯な戦術として、奨励されなかった江戸時代。その後、260年続いた江戸幕府の一つの戦略だったかもしれませんね。